

地域における公益的取組事例（江津市所管法人）

H30.4.1 現況報告書	
No.	取組内容
1	<p>法人名 桜江福祉会</p> <p>取組名称 ⑦福祉教育活動（出前講座）</p> <p>取組内容 認知症出前講座、基礎編、応用編 2 回実施</p> <p>⑧地域の他機関とのネットワーク活動</p> <p>地域の小中学校体験学習等の訪問受け入れを通じて、ネットワークの構築</p> <p>⑤既存事業の利用料の減免・免除</p> <p>介護保険事業の利用者負担軽減実施</p> <p>⑨子育て支援事業、一時預かり保育事業</p> <p>一時的に保育できない方の保護者支援、親子広場</p> <p>江和会</p> <p>⑦保育実習、ボランティアの受け入れ、中高生の職場体験の受け入れ</p> <p>保育市養成校からの保育実習の受け入れ、中高生の職場体験の受け入れ</p> <p>⑨市指定の災害等避難所</p> <p>緊急避難所等</p>

①地域の要支援者に対する相談支援
②地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援
③地域の要支援者に対する権利擁護支援
④地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供
⑤既存事業の利用料の減額・免除
⑥地域の福祉ニーズ等を把握するためのサロン活動
⑦地域住民に対する福祉教育
⑧地域の関係者とのネットワークづくり
⑨その他

(様式1号別紙)

## 事業実施報告書

### 1 法人間連携プラットフォーム運営に係る環境整備等事業

#### 1) 法人間連携プラットフォーム（以下、「PF」という。）に関する情報

① PF名称	雲南市社会福祉法人連絡会 『 All Unnan 地域の活性化を社会福祉法人から 』		
② PF設置年月	平成29年3月		
③ PF参画法人			
	法人名称（法人種別含む）	実施事業種別	運営施設数（※1）
	〇〇福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	2
	あおぞら福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input checked="" type="checkbox"/> 児童	3
	愛耕福祉会	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input checked="" type="checkbox"/> 児童	3
	たんぼぼ	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input checked="" type="checkbox"/> 児童	1
	かも福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	3
	四ツ葉学園	<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input checked="" type="checkbox"/> 児童	1
	雲南ひまわり福祉会	<input type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	2
	きすき福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	2
	有隣会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	1
	萌友福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	1
	よしだ福祉会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	1
	雲南広域福祉会	<input type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	2
	仁寿会	<input type="checkbox"/> 高齢 <input checked="" type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	1
	島根県社会福祉事業団	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	1
	雲南市社会福祉協議会	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input checked="" type="checkbox"/> 児童	6
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	
		<input type="checkbox"/> 高齢 <input type="checkbox"/> 障がい <input type="checkbox"/> 児童	

※1：運営する施設の数を入力（同一拠点で複数の事業を提供していても1施設として数える）

## 2) PFにおける地域課題に関する検討状況

年月	検討状況等
平成27年9月18日	・PF 参画法人代表者による会議を開催。研修会と雲南市健康福祉部・子育て支援部と地域課題について確認する。今後のあり方について検討を行う。
平成28年6月28日	・参画法人代表者による第1回設立準備会を開催。島根県内の状況把握と市健康福祉部と地域課題について確認する。全体構想の検討を行う。
平成28年9月30日	・参画法人代表者による第2回設立準備会を開催。県社協・市健康福祉部と地域課題の確認と把握する。設立に向けた会則及び体制について協議した。4名の代表幹事を選出する。
平成28年11月28日	・第1回設立準備会世話人会の開催。生活困窮や地域課題を確認、今後の事業展開について検討する。
平成29年1月31日	・第2回設立準備会世話人会の開催。活動計画及び当初予算について協議する。
平成29年2月17日	・参画法人代表者による第3回設立準備会を開催。活動計画及び収支予算について協議する。
平成29年3月5日	・設立総会を行う。「社会福祉法人を取り巻く動向と地域公益活動について」と題して県社協より基調講演を行う。
平成29年8月29日	・第1回正副幹事長会を開催。PFで対応すべき地域課題に対応するため加入法人を対象としたアンケート実施を確認する。
平成29年9月	加入14法人を対象としたアンケートを実施した。(全法人から回答があった)
平成29年10月3日	・第2回正副幹事長会を開催。アンケート結果の報告と今後の事業展開について検討した。
平成29年10月26日	・法人連絡会研修会への参加「社会福祉法人地域公益活動推進セミナー」(10法人18名の参加)
平成29年11月17日	・平成29年度第1回幹事会(施設長・事務局長他)を開催。アンケート調査結果の報告と今後の活動について検討する。
平成30年3月5日	・第3回正副幹事長会を開催。雲南市健康福祉部とひきこもり実態調査を基に検討する。
平成30年7月4日	・第1回正副幹事長会を開催。地域課題に関する平成30年度活動計画について検討した。
平成30年7月12日	・平成30年度第1回幹事会(施設長・事務局長他)を開催。地域課題に関する平成30年度活動計画及び雲南市ひきこもり対策について市健康福祉と検討した。身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業・フードバンク事業の試行について具体的な説明を行った。
平成30年7月19日	平成30年度役員会の開催。活動計画及び収支予算について検討する。
平成30年7月19日	・参画法人代表者による総会を開催。活動計画及び収支予算について議決。
平成30年12月14日	・第2回正副幹事長会を開催。身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業状況確認
平成31年2月12日	・平成30年度第2回幹事会(施設長・事務局長他)を開催。身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業状況報告。「しまね災害福祉広域支援ネットワーク事業」説明2法人参加

## 3) 2) を経てPFにて取り組むべきとした地域課題

地域における公益的な活動 ⇒ 制度や市場原理では満たされないニーズに応えるもの  
全法人からのアンケート結果をもとに事業を検討しました。【別紙1】

・障がい者の就労支援・高齢者等の雇用(ひきこもり支援ネットワーク事業との連携、中間就労の場) 社協内の施設を活用し試行的に事業を実施(若者の就労支援事業フリースペースを開設)

・福祉教育・啓発活動（認知症を地域支える体制づくり「徘徊しても大丈夫！そんな近所・地域づくりプロジェクト」プラットフォームを形成し地域単位で社協と地元法人連携で事業推進
・複数の法人や行政・関係機関・地域などが連携した支援システムづくり「身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」加盟全法人で取り組みを決定
・生活支援(フードバンク(食糧支援)の協働運営) 3法人参画
・災害時における行政との連携、

## 2 PFによる協働事業の実施に係る環境整備等事業

### 1) 協働事業の企画内容

事業名①	くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業
事業概要	【別紙2】参照

### 2) 1) の検討・試行状況

年月	検討・試行状況等
事業名①	くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業
平成 30 年 7 月 4 日	・幹事長：社協常務理事 副幹事長：きすき福祉施設長、あおぞら福祉会統括部長、ひまわり福祉会事務局長による正副幹事長会を開催。アンケートの実施結果を基に取り組みべきとした地域課題を踏まえ、協働事業の実施に向けた内容を協議。相談窓口ネットワーク事業について幹事会へ提案する方針を決定。
平成 30 年 7 月 12 日	・平成 30 年度第 1 回幹事会（参画法人の施設長・事務局長他）を開催。身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業について具体的な説明を行い総会への提案を決定。
平成 30 年 7 月 19 日	・法人連絡会 会長：仁寿会理事長、副会長 2 名、かも福祉会、愛耕福祉会の各理事長、監事よしだ福祉会、萌友福祉会各理事長 5 名による役員会を開催。事業説明と総会への提案について了承。
平成 30 年 7 月 19 日	・参画法人代表者による総会の開催。「地域における公益的な取組」として 14 法人による「くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」について概要を説明し決議。
平成 30 年 11 月 20 日	・参画法人から 1 名～2 名選出により「くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」第 1 回担当者連絡会を開催。基調説明・事業提案・グループワークを実施した。
平成 30 年 12 月 14 日	・第 2 回正副幹事長会を開催。「くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」の第 1 回担当者会の状況説明と第 2 回担当者会・研修会実施に向け内容協議を行う。
平成 31 年 2 月 12 日	・平成 30 年度第 2 回幹事会（施設長・事務局長他）を開催。「くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」の第 1 回担当者会の状況説明と第 2 回担当者会・研修会実施内容の承認
平成 31 年 2 月 21 日	・「くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」の第 2 回担当者会の開催。この事業の実施の流れ（イメージ）の説明。

平成 31 年 2 月 21 日	・研修講演会の実施。演題：「貧困を、学ぶ・伝える」～見えにくいニーズをキャッチするために～ 講師：認定 NPO 法人自立生活サポートセンター・もやい理事長 大西 連氏、事務局 加藤 歩氏により実施した。関係者が貧困に対する認識を統一した。
平成 31 年 2 月 26 日	・各法人幹事へ相談窓口開設に必要な看板枚数について照会 ・「各法人に確認したところ積極的に取り組みたいとの意向があり看板枚数が増えた」
平成 31 年 3 月 28 日	・看板業者から看板納品。順次参画法人へ発送

### 3) 1) の試行結果に対する検証

事業名①	くらしの安心を支える身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業
試行結果を踏まえた次年度以降の実施に向けた課題・取り組み方針等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・役員（理事長）、管理職（施設長・事務局長）、担当者と社会福祉法 24 条第 2 項の意義を確認しながら進めることでこの事業の必要性について各法人において一定の理解が得られた。</li> <li>・このことで、事業実施に向けた機運を高めることができた。生活困窮者や複合的な支援が必要な家庭に対して市内の社会福祉法人が貧困に対する認識を共有しながら来年度からの事業実施に向かっての動き出すことができた。特に、法人単位で動くよりも、みんながまとまって取り組む方が効率的だとの考えが浸透することで、各法人が積極的に取り組む環境を整備することができた。</li> <li>・平成 31 年度総会での承認から窓口の開設となるが、開設前には再度担当者を集めた会議や幹事会の開催を予定している。そこで開設前の課題や問題点について協議を行いたい。</li> <li>・この事業をサポートするために雲南市社会福祉協議会が実施する「生活支援・相談センター」における体制を強化することで各法人からの相談体制充実を図りたい。</li> <li>・また、研修会終了後のアンケート結果からも一定の成果を感じることができた。</li> </ul>	

### 3 PFによる協働事業の実施に向けた福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みに係る環境整備等事業

#### 1) 福祉・介護人材の確保・定着のための取り組みの企画内容

事業名①	「女性のキャリアとライフスタイルを応援する」合同研修会の開催
事業概要	・市内の社会福祉法人の事業推進の原動力は女性の力が重要である。そこで、理事長及び施設長等を中心とした合同研修会を開催し女性活躍の場を全体で考えることで福祉・介護人材の確保・定着のために活用することを目的として実施する。
事業名②	「ALL UNNANN 地域の活性化を社会福祉法人から」パンフレットの発行
事業概要	・14 の参画法人の人材確保・定着のため、福祉の魅力や第一線で活躍する職員の様子などを紹介し各法人が行う事業の周知を図る。特に人材不足が著しい介護人材確保に向け、介護の魅力を紹介するツールとして活用する。島根県内外の大学・専門学校・短大・高校・小学校へ配布。特に、雲南市内の小中高校へ配布するなど地域と法人との関係づくりを行った。
事業名③	・雲南市内の高校生に福祉・介護の魅力を発信

事業概要	・福祉・介護の人材確保への対応として市内の3つの高校生を対象とした講座を計画した。特に介護の魅力をアップするために介護の実践において多職種による連携に基づく介護技術を理解していただけるような企画を行った。
------	--

2) 1) の検討・取り組み状況

事業名①「女性のキャリアとライフスタイルを応援する」合同研修会の開催

年月	検討・取り組み状況等
平成30年3月5日	・第3回正副幹事長会を開催。女性の活躍社会を社会福祉法人からを目的とした合同研修会を計画。講師にNPO法人おっちラボ代表理事矢田明子氏<ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018「超高齢化社会の希望賞」を受賞
平成30年7月4日	・第1回正副幹事長会を開催。前回会議で取りまとめた事業案について確認。講師予定の矢田明子代表が体調不良で入院されたため急遽代替を検討した。矢田氏からの提案を受けコミュニティナースの古市 妙氏・多文化共生社会で取り組みを進める芝 由紀子氏と李 在鎮氏を講師として進めることを確認した。
平成30年7月12日	・平成30年度第1回幹事会（施設長・事務局長他）を開催。訂正した内容を説明し了承を得たのち合同研修企画を説明確認した。
平成30年7月19日	合同研修会を開催。 ○開催日時 平成30年7月19日15時30分～ ○場 所 雲南市健康福祉センター多機能集会室 ○参加者 29名 ○研修内容 演題「日本でいちばんチャレンジに優しいまち雲南」～女性活躍の事例から考える～ 講師 NPO法人おっちラボ 事務局長 小俣健三郎氏・躍動と安らぎの里づくり鍋山地域づくり応援隊（コミュニティーナース） 古市 妙氏・うなんんグローバルセンター 代表 芝 由紀子氏・同センター 事務局長 李 在鎮氏 ※終了後講師と各法人間での意見交換を実施した。

事業名②ALL UNNAN 地域の活性化を社会福祉法人からパンフレットの発行事業

年月	検討・試行状況等
平成30年7月12日	・平成30年度第1回幹事会（参画法人の施設長・事務局長他）を開催。パンフレット発行事業について活動計画に記載し総会への提案を決定。
平成30年7月19日	・法人連絡会 役員会を開催。活動計画の説明と総会への提案について了承。
平成30年7月19日	・参画法人代表者による総会の開催。活動計画に記載したパンフレット発行について説明し決議。
平成30年11月6日	・3業者参加による見積り入札の結果第一印刷が落札する。
平成30年11月22日	・パンフレットの目的を踏まえ本会内で検討した具体的な内容について、第一印刷へ伝え打合せを行う。見本の作成依頼をする。
平成30年12月14日	・第2回正副幹事長会を開催。平成30年度小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

	の決定を説明した上で法人連絡会のパンフレット作成にかかる協力依頼と事業概要を説明する。この中で、各法人からの担当者会の開催について決定する。第2回担当者会・研修会実施に向け内容協議を行う。
平成30年12月17日 ～12月19日	・参加法人へ、平成30年度小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の説明とパンフレット作成の経緯及び概要を説明し、担当者会の案内を行う。
平成30年12月25日	・パンフレット作成にかかる担当者説明会を開催。概要説明に日程について説明。
平成31年2月12日	・平成30年度第2回幹事会を開催。平成30年度小規模法人のネットワーク化による協働推進事業の説明とパンフレット作成の経緯及び概要について説明を行う。
平成31年2月26日	・パンフレット作成にかかる第2回担当者説明会を開催。各法人から提出されたデータをもとに日程の確認と原案を作成し意見交換を行った。
平成31年3月20日	納品検品を行った。

### 事業名③雲南市内の高校生に福祉・介護の魅力を発信

年月	検討・取り組み状況等
平成30年7月4日	・第1回正副幹事長会を開催。平成30年度の活動計画の中で福祉の魅力発信として提案。
平成30年7月12日	・平成30年度第1回幹事会（施設長・事務局長他）を開催。「福祉の魅力発信」として説明
平成30年7月19日	・参画法人代表者による総会を開催。活動内容を承認。
平成30年11月19日	・1回目大東高校2年生20名を対象として「生活と福祉」と題して実施。特別養護老人ホーム施設長、作業療法士が参加
平成30年11月22日	・2回目大東高校2年生20名を対象として「生活と福祉」と題して実施。管理栄養士、介護福祉士が参加

### 3) 1) の取り組み結果に対する検証

事業名①	事業名①「女性のキャリアとライフスタイルを応援する」合同研修会の開催
	<p>試行結果を踏まえた次年度以降の実施に向けた課題・取り組み方針等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修等を実施することで、雲南市内でこれだけの女性が活躍している現状への理解が深まった。</li> <li>・法人連絡会において引き続き「女性のキャリアとライフスタイルを応援する」ワークライフバランスの機運を高めるとともに情報の共有や事業所間での好事例を参考とする等の取り組みを進める。</li> </ul>
事業名②	ALL UNNAN 地域の活性化を社会福祉法人からパンフレットの発行事業
	<p>試行結果を踏まえた次年度以降の実施に向けた課題・取り組み方針等</p> <p>参画法人の人材確保・定着のため、福祉の魅力や第一線で活躍する職員の様子などを紹介し、各法人が行う事業の周知を図ることを目的とした。各法人から担当者を選出してもらい、直接担当者にパンフレットの目的やコンセプトを説明することが出来たため、担当者会でも目指す完成像の共有を図ることが出来た。その結果、今回のパンフレットは職場の雰囲気やそこで働く職員の「顔」がみえるパンフレットにする点について徹底して制作が出来た。</p> <p>人材確保や地域住民への周知のため、市内各所、自主組織をはじめ、市内小中学校、県内高</p>

	<p>校、福祉系の大学等に配付した。今後、実際に就職説明会等で市内法人の魅力を発信していくツールとして活用していく。また、各法人職員への配布も行った。他法人の活動や法人連絡会の存在、相談ネットワーク事業を改めて知ってもらうことができた。</p> <p>配布による効果だけでなく、この事業によって参画法人の横のつながりも強くなった。短い期間ではあったが担当者会の開催や連絡を密に取ったことでお互いの法人について知ることが出来た。今回のパンフレットは法人全体の紹介をするためのものであったが、本誌の活用が効果的であれば、今後第2弾の作成も検討していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の14法人をこの冊子から紹介することで福祉・介護について興味を抱くことで身近に感じていただく切っ掛けができたので次年度からは点から線に繋げることを進める。</li> <li>・このパンフレットは各法人全職員へ配布することができた。福祉の仕事に対して先ずは働く者が魅力を感じることで離職等の防止を図る。</li> </ul>
事業名③	雲南市内の高校生に福祉・介護の魅力を発信
	<p>試行結果を踏まえた次年度以降の実施に向けた課題・取り組み方針等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大東高校のみで実施したが来年度は市内3校を対象としたい。継続的に連絡会の事業として取り組みたい。</li> <li>・福祉・介護職が多職種間連携行なっていることへの理解を深めることで、人材育成や確保に法人連絡会でさらに取り組みを進める。</li> </ul>

## 収支決算書

法人間連携プラットフォーム名	雲南市社会福祉法人連絡会 『All Unnan 地域の活性化を社会福祉法人から』
----------------	---

## 1. 収入の部

(単位:円)

科目	収入額	備考
委託料	1,245,000	「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」助成金
合計	1,245,000	

## 2. 支出の部

(単位:円)

科目	支出額	支出内訳
報償費	50,000	講師謝金2名分 「くらしの安心を支える 身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」 第2回担当者連絡会・研修会 講師：認定NPO法人自立生活サポートセンターもやい 理事長 大西 蓮志氏、事務局長 加藤 歩氏
旅費	100,386	講師旅費2名分 航空券代77,560円 電車3,226円 宿泊19,600円
需用費	685,084	
消耗品費	19,872	研修会用模造紙1,555円 パンフレット作成用USBメモリ10,836円 パンフレット校正用コピー用紙6,637円 看板作成用アルミフレーム844円
印刷製本費	665,212	パンフレット校正用印刷機インク代38,812円 雲南市社会福祉法人紹介パンフレット(5,000冊)626,400円
役務費	39,530	
通信運搬費	39,530	研修会資料送付代(もやい分)2,030円 パンフレット送付代(@250×150カ所)37,500円
助成金	370,000	「くらしの安心を支える 身近でなんでも相談窓口ネットワーク事業」 相談窓口看板代助成 55ヶ所分
合計	1,245,000	※千円未満切り捨て

※枠が不足する場合は、適宜追加すること。

